



## 2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日

東

上場会社名 綜研化学株式会社 上場取引所  
 コード番号 4972 URL <https://www.soken-ce.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 純一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 和田 裕子 (TEL) 03-3983-3268  
 定時株主総会開催予定日 2022年6月24日 配当支払開始予定日 2022年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期の連結業績 (2021年4月1日～2022年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	38,638	22.7	2,229	△34.4	2,744	△23.2	2,040	△25.1
2021年3月期	31,493	9.7	3,397	67.0	3,576	92.7	2,724	66.6
(注) 包括利益	2022年3月期		3,343百万円 (20.5%)		2021年3月期		2,774百万円 (125.3%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	247.48	—	7.6	6.4	5.8
2021年3月期	331.12	—	11.2	9.4	10.8

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産				
	百万円	百万円	%	円 銭				
2022年3月期	45,582	28,348	62.2	3,435.67				
2021年3月期	40,403	25,591	63.3	3,107.24				
(参考) 自己資本	2022年3月期		28,348百万円		2021年3月期		25,591百万円	

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	3,973	△3,442	783	11,203
2021年3月期	5,326	△1,768	△693	9,600

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00	617	22.7	2.5
2022年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00	618	30.3	2.3
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	85.00	85.00	—	—	—

## 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	12.7	1,300	△2.8	1,300	△12.2	1,000	△15.2	121.27
通期	43,000	11.3	3,500	57.0	3,500	27.5	2,500	22.5	303.18

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期	8,300,000株	2021年3月期	8,300,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期	48,847株	2021年3月期	64,014株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	8,245,918株	2021年3月期	8,229,039株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	19,876	17.6	△239	—	1,934	△27.2	1,686	△26.0
2021年3月期	16,905	5.1	703	22.6	2,655	91.6	2,279	90.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年3月期	204.49		—					
2021年3月期	276.99		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	33,361	22,898	68.6	2,775.22
2021年3月期	32,028	21,859	68.3	2,654.15

(参考) 自己資本 2022年3月期 22,898百万円 2021年3月期 21,859百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	21,500	8.2	2,300	18.9	2,000	18.6	242.54

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	18
(1) 貸借対照表 .....	18
(2) 損益計算書 .....	20
(3) 株主資本等変動計算書 .....	21
(4) 個別財務諸表に関する注記事項 .....	23
(継続企業の前提に関する注記) .....	23
(重要な後発事象) .....	23

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済情勢は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や経済対策による景気回復が進む一方で、原油価格の高騰や部材不足の深刻化、物流網の混乱などが下押し要因となり、さらには、変異株による感染再拡大や地政学的リスクの顕在化の影響が懸念されるなど、先行き不透明かつ厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、原材料の調達難や価格高騰に対処し、安定的な製品供給の継続と適正利益の確保に最善を尽くすとともに、持続的成長に向けて、中長期的な需要を見据えた生産・供給能力の増強、技術革新が進む自動車・情報電子分野など成長領域での製品開発・販売体制の強化、社会課題の解決を志向した医療ヘルスケア・エネルギー分野などでの新規事業開発に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、液晶ディスプレイ関連の需要拡大が進む中国市場を中心にケミカルズの販売が伸長したことや、装置システムの工事完成高が増加したことに加え、人民元高に伴い中国子会社の売上高の為替換算額が増加したこともあり、売上高は386億38百万円（前連結会計年度比22.7%増）となりました。

一方、利益面につきましては、増販効果はありましたが、原油価格の高騰や需給逼迫に伴う原材料価格の上昇に歯止めが掛からず、コスト削減や価格転嫁に努めたものの、急激なコスト上昇を吸収するまでには至らず、営業利益は22億29百万円（前連結会計年度比34.4%減）、経常利益は27億44百万円（前連結会計年度比23.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は20億40百万円（前連結会計年度比25.1%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

#### <ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高342億15百万円（前連結会計年度比20.9%増）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、中国市場を中心に需要拡大が続く液晶ディスプレイ関連用途向けの販売が伸びたことや、建材・自動車分野など一般用途向けの販売も回復傾向で推移したことなどにより、売上高は218億35百万円（前連結会計年度比24.9%増）となりました。

微粉体製品は、中国市場での光拡散用途向けの販売数量が第4四半期に顧客の在庫調整の影響を受けて前年度並みに留まったものの、人民元高の影響により、売上高は30億21百万円（前連結会計年度比6.9%増）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場での電子材料用途向けの販売が堅調に推移したことなどにより、売上高は35億21百万円（前連結会計年度比16.0%増）となりました。

加工製品は、中国市場での機能性粘着テープの販売が自動車内装部材・電子情報機器用途向けで増加したことなどにより、売上高は58億37百万円（前連結会計年度比17.8%増）となりました。

#### <装置システム>

装置システムについては、資材価格の高騰や調達難など厳しい受注環境にありましたが、大型設備工事案件の工事完成高の増加などにより、売上高は44億22百万円（前連結会計年度比38.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて51億78百万円増加し、455億82百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金、有価証券、棚卸資産が増加したことなどにより、前期末に比べ32億73百万円増加し、278億73百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券が減少したものの、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ19億5百万円増加し、177億8百万円となりました。

一方、負債については契約負債等その他流動負債が減少したものの、支払手形及び買掛金、長期借入金が増加したことなどにより、前期末に比べ24億21百万円増加し、172億34百万円となりました。

当期末における純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べ27億57百万円増加し、283億48百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末63.3%から1.1ポイント減少し62.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ16億3百万円増加し、112億3百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、39億73百万円となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益27億73百万円、減価償却費19億3百万円、仕入債務の増加24億33百万円などによる増加と、契約負債等その他の減少13億69百万円、棚卸資産の増加13億69百万円などに伴う減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、34億42百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得36億83百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、7億83百万円となりました。

これは、主に長期借入金の借入れ15億30百万円による増加と、長期借入金の返済1億20百万円、配当金の支払額6億17百万円などに伴う減少によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
自己資本比率	60.5%	61.6%	65.8%	63.3%	62.2%
時価ベースの自己資本比率	58.8%	36.6%	23.1%	44.5%	30.2%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.1年	1.5年	0.6年	0.4年	0.9年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	30.9	26.7	63.2	101.2	75.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利息の支払額

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の経済見通しについては、中国での主要都市封鎖など新型コロナウイルス感染症による影響の長期化に加え、ウクライナ情勢の悪化など地政学的リスクの顕在化を背景に、資源価格の高騰や物流網の混乱、為替相場の急変が懸念されるなど、先行き予断を許さない状況が続くとみております。

このような状況のもと、当社グループは、液晶ディスプレイ分野をはじめとする既存事業領域でのシェア拡大による収益基盤の維持・拡大を図るとともに、原材料価格上昇に応じた適切な価格転嫁やコスト削減施策による収益性の改善に注力してまいります。また、将来の市場・顧客ニーズの変化や技術革新を見据えた新製品開発、製品用途・顧客開拓、新規事業開発への取り組みをより一層強化し、環境変化に強い事業構造への転換を進めてまいります。

以上を踏まえて、2023年3月期の業績につきましては、売上高は430億円（当連結会計年度比11.3%増）、営業利益は35億円（当連結会計年度比57.0%増）、経常利益は35億円（当連結会計年度比27.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は25億円（当連結会計年度比22.5%増）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主に対する利益還元を重要政策の一つと考え、事業拡大や技術革新のための設備投資及び研究開発投資を行い、海外展開による市場拡大と新製品・新技術の開発・量産化に努め、競争力を維持・強化し、収益力の向上、財務体質の強化を図りながら、配当水準の向上と安定化に努めることを基本方針としております。なお、剰余金の配当は、期末配当の年1回を基本としており、期末配当の決定機関は株主総会であります。また、中間配当を行うことができることを定款で定めており、その決定機関は取締役会であります。

当期の利益配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、今後の事業展開、設備投資等の資金需要、内部留保の水準など総合的に勘案し、普通配当を1株当たり75円とさせていただきます。予定であります。

次期の利益配当金につきましては、上記の方針や次期の業績予想等を勘案し、1株当たり普通配当85円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,100,229	7,203,486
受取手形及び売掛金	8,093,262	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	8,026,469
電子記録債権	2,662,047	2,410,428
有価証券	3,500,000	4,000,000
商品及び製品	3,049,866	4,271,337
仕掛品	69,899	47,115
原材料及び貯蔵品	910,180	1,338,082
その他	223,067	588,588
貸倒引当金	△7,709	△11,625
流動資産合計	24,600,844	27,873,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,430,876	16,231,963
減価償却累計額	△8,464,374	△9,137,730
建物及び構築物（純額）	6,966,502	7,094,232
機械装置及び運搬具	19,174,992	20,269,712
減価償却累計額	△14,921,107	△16,222,652
機械装置及び運搬具（純額）	4,253,885	4,047,060
土地	1,348,183	1,347,465
使用権資産	618,007	735,187
減価償却累計額	△143,049	△186,967
使用権資産（純額）	474,958	548,219
建設仮勘定	183,061	2,266,078
その他	2,883,457	3,302,832
減価償却累計額	△2,157,070	△2,470,111
その他（純額）	726,386	832,720
有形固定資産合計	13,952,978	16,135,776
無形固定資産		
その他	386,321	328,701
無形固定資産合計	386,321	328,701
投資その他の資産		
投資有価証券	381,978	63,469
繰延税金資産	943,882	1,008,751
その他	241,974	290,106
貸倒引当金	△104,260	△118,110
投資その他の資産合計	1,463,576	1,244,217
固定資産合計	15,802,876	17,708,695
資産合計	40,403,720	45,582,578

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,636,408	8,146,311
電子記録債務	553,027	740,510
短期借入金	943,481	1,092,618
1年内返済予定の長期借入金	120,000	90,250
未払法人税等	699,872	328,080
賞与引当金	687,512	654,290
役員賞与引当金	69,000	63,000
完成工事補償引当金	1,300	8,500
工事損失引当金	324	0
その他	3,283,133	1,785,843
流動負債合計	11,994,061	12,909,404
固定負債		
長期借入金	1,000,000	2,440,126
退職給付に係る負債	1,793,815	1,802,523
資産除去債務	—	46,647
その他	24,673	35,606
固定負債合計	2,818,488	4,324,902
負債合計	14,812,550	17,234,307
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,391,491	3,402,662
利益剰余金	18,272,686	19,697,641
自己株式	△76,568	△58,455
株主資本合計	24,949,173	26,403,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,130	3,586
為替換算調整勘定	566,820	1,909,685
退職給付に係る調整累計額	12,045	31,588
その他の包括利益累計額合計	641,996	1,944,859
純資産合計	25,591,170	28,348,270
負債純資産合計	40,403,720	45,582,578



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	31,493,976	38,638,057
売上原価	20,905,999	28,376,695
売上総利益	10,587,977	10,261,362
販売費及び一般管理費	7,190,026	8,032,172
営業利益	3,397,950	2,229,189
営業外収益		
受取利息及び配当金	38,498	46,037
補助金収入	60,971	71,952
為替差益	207,464	422,079
雑収入	53,748	61,241
営業外収益合計	360,683	601,310
営業外費用		
支払利息	51,085	52,522
貸倒引当金繰入額	100,740	13,850
雑損失	30,682	19,312
営業外費用合計	182,507	85,684
経常利益	3,576,125	2,744,816
特別利益		
固定資産売却益	1,617	96
投資有価証券売却益	233,083	66,234
補助金収入	49,560	—
特別利益合計	284,261	66,331
特別損失		
固定資産売却損	1,380	1,332
固定資産除却損	87,630	27,170
投資有価証券売却損	5,461	8,753
投資有価証券評価損	2,072	—
固定資産圧縮損	48,527	—
特別損失合計	145,071	37,256
税金等調整前当期純利益	3,715,315	2,773,890
法人税、住民税及び事業税	979,121	779,622
法人税等調整額	11,380	△46,434
法人税等合計	990,502	733,187
当期純利益	2,724,813	2,040,703
親会社株主に帰属する当期純利益	2,724,813	2,040,703

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	2,724,813	2,040,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106,295	△59,544
為替換算調整勘定	48,865	1,342,864
退職給付に係る調整額	106,786	19,542
その他の包括利益合計	49,356	1,302,862
包括利益	2,774,170	3,343,565
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,774,170	3,343,565

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,361,563	3,391,214	15,999,755	△100,430	22,652,101
当期変動額					
剰余金の配当			△451,881		△451,881
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,724,813		2,724,813
自己株式の取得				△59	△59
自己株式の処分		277		23,922	24,200
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	277	2,272,931	23,862	2,297,071
当期末残高	3,361,563	3,391,491	18,272,686	△76,568	24,949,173

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	169,425	517,954	△94,740	592,639	23,244,741
当期変動額					
剰余金の配当					△451,881
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,724,813
自己株式の取得					△59
自己株式の処分					24,200
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△106,295	48,865	106,786	49,356	49,356
当期変動額合計	△106,295	48,865	106,786	49,356	2,346,428
当期末残高	63,130	566,820	12,045	641,996	25,591,170

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,361,563	3,391,491	18,272,686	△76,568	24,949,173
会計方針の変更による 累積的影響額			1,950		1,950
会計方針の変更を反映し た当期首残高	3,361,563	3,391,491	18,274,636	△76,568	24,951,124
当期変動額					
剰余金の配当			△617,698		△617,698
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,040,703		2,040,703
自己株式の取得				△68	△68
自己株式の処分		11,170		18,180	29,351
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	11,170	1,423,004	18,112	1,452,287
当期末残高	3,361,563	3,402,662	19,697,641	△58,455	26,403,411

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	63,130	566,820	12,045	641,996	25,591,170
会計方針の変更による 累積的影響額					1,950
会計方針の変更を反映し た当期首残高	63,130	566,820	12,045	641,996	25,593,121
当期変動額					
剰余金の配当					△617,698
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,040,703
自己株式の取得					△68
自己株式の処分					29,351
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△59,544	1,342,864	19,542	1,302,862	1,302,862
当期変動額合計	△59,544	1,342,864	19,542	1,302,862	2,755,149
当期末残高	3,586	1,909,685	31,588	1,944,859	28,348,270

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,715,315	2,773,890
減価償却費	1,847,594	1,903,980
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	93,904	16,673
賞与引当金の増減額 (△は減少)	129,065	△33,221
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	90,271	37,037
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△1,700	7,200
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,000	△6,000
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,218	△324
受取利息及び受取配当金	△38,498	△46,037
支払利息	51,085	52,522
為替差損益 (△は益)	△11,445	△33,625
補助金収入	△110,531	△71,952
固定資産圧縮損	48,527	—
固定資産除売却損益 (△は益)	87,392	28,406
投資有価証券売却損益 (△は益)	△227,621	△57,480
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,072	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,198,580	1,019,862
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,060,293	2,433,622
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△226,585	△1,369,482
未払消費税等の増減額 (△は減少)	35,666	△221,260
その他	1,391,960	△1,369,366
小計	5,756,966	5,064,442
利息及び配当金の受取額	38,499	45,812
補助金の受取額	110,531	71,952
利息の支払額	△52,622	△52,946
法人税等の支払額	△526,427	△1,155,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,326,948	3,973,534
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,090,097	△3,683,110
有形固定資産の売却による収入	2,571	735
無形固定資産の取得による支出	△78,975	△48,824
投資有価証券の取得による支出	△15,538	△34,853
投資有価証券の売却による収入	458,090	328,154
その他	△44,488	△5,086
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,768,437	△3,442,985
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000,000	1,530,376
長期借入金の返済による支出	△1,240,000	△120,000
自己株式の取得による支出	△59	△68
配当金の支払額	△453,089	△617,195
その他	△712	△9,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△693,862	783,218
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,439	289,489
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,855,209	1,603,256
現金及び現金同等物の期首残高	6,745,020	9,600,229
現金及び現金同等物の期末残高	9,600,229	11,203,486

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、第1四半期連結会計期間より装置システムセグメントにおける収益認識のうち、一定の期間にわたり充足される履行義務は、期間がごく短い工事を除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積もり当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識しております。また、期間がごく短い工事については、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号)第95項に定める代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識することとしております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、見積総原価に対する実際原価の割合(インプット法)で算出しております。また、ケミカルズセグメントにおける収益認識については、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、国内販売においては、出荷時から製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間であるとして、出荷時に収益を認識しております。一方で、輸出販売においては主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識しており、従来の方法より変更はございません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当連結会計年度の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ケミカルズ製品の製造・販売及び装置・システムの販売、生産システムのエンジニアリングに関する事業活動を行っていることから、「ケミカルズ」、「装置システム」の2つを報告セグメントとしております。

「ケミカルズ」においては、粘着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品の製造・販売を行い、「装置システム」では、装置・システムの販売、生産システムのエンジニアリング、プラントのメンテナンス、熱媒体油の輸入販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の売上高又は振替高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,295,179	3,198,797	31,493,976	—	31,493,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	317	27,361	27,679	△27,679	—
計	28,295,496	3,226,158	31,521,655	△27,679	31,493,976
セグメント利益	3,235,583	149,443	3,385,026	12,924	3,397,950
セグメント資産	30,537,439	3,222,675	33,760,115	6,643,605	40,403,720
その他の項目					
減価償却費	1,853,009	14,684	1,867,693	△20,099	1,847,594
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,105,992	6,970	2,112,962	△5,655	2,107,306

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額12,924千円は、セグメント間取引消去であります。
  - (2) セグメント資産の調整額6,643,605千円は、主に親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。
  - (3) 減価償却費の調整額△20,099千円は、セグメント間取引消去であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△5,655千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,215,555	4,422,502	38,638,057	—	38,638,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	345	226,325	226,670	△226,670	—
計	34,215,900	4,648,827	38,864,728	△226,670	38,638,057
セグメント利益	1,821,309	443,422	2,264,732	△35,542	2,229,189
セグメント資産	35,061,713	3,166,266	38,227,979	7,354,598	45,582,578
その他の項目					
減価償却費	1,906,141	15,097	1,921,238	△17,258	1,903,980
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,262,416	29,900	3,292,316	△54,319	3,237,997

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△35,542千円は、セグメント間取引消去であります。
  - (2) セグメント資産の調整額7,354,598千円は、主に親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。
  - (3) 減価償却費の調整額△17,258千円は、セグメント間取引消去であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△54,319千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
13,341,063	13,138,164	5,014,748	31,493,976

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
7,944,909	5,552,930	455,138	13,952,978

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
15,413,389	17,612,077	5,612,591	38,638,057

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
7,715,617	7,995,296	424,862	16,135,776

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)  
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)  
該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)  
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)  
該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)  
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	3,107円24銭	3,435円67銭
1株当たり当期純利益金額	331円12銭	247円48銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,724,813	2,040,703
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,724,813	2,040,703
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,229	8,245

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	25,591,170	28,348,270
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	25,591,170	28,348,270
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	8,235	8,251

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,007,028	2,296,849
受取手形	746,597	389,875
電子記録債権	433,761	609,087
売掛金	4,427,903	5,159,465
有価証券	3,500,000	4,000,000
商品及び製品	1,554,024	1,911,898
原材料及び貯蔵品	337,650	605,959
前払費用	53,092	69,949
その他	2,632,461	2,588,742
流動資産合計	15,692,519	17,631,828
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,360,006	4,402,800
構築物	227,028	198,494
機械及び装置	1,886,232	1,622,966
車両運搬具	31,467	20,871
工具、器具及び備品	333,573	373,644
土地	1,100,962	1,100,962
建設仮勘定	26,319	3,450
有形固定資産合計	7,965,590	7,723,190
無形固定資産		
ソフトウェア	365,917	308,096
その他	1,927	1,927
無形固定資産合計	367,844	310,024
投資その他の資産		
投資有価証券	369,710	63,469
関係会社株式	1,563,017	1,563,017
関係会社出資金	5,221,513	5,221,513
長期前払費用	53,645	31,192
繰延税金資産	777,162	804,262
その他	121,573	130,758
貸倒引当金	△104,260	△118,110
投資その他の資産合計	8,002,363	7,696,104
固定資産合計	16,335,798	15,729,319
資産合計	32,028,318	33,361,147

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	63,437	25,533
電子記録債務	213,814	273,596
買掛金	4,276,211	5,757,974
1年内返済予定の長期借入金	120,000	—
未払金	1,143,901	546,126
未払費用	217,834	215,072
未払法人税等	543,289	131,962
未払消費税等	70,767	—
賞与引当金	610,155	579,926
役員賞与引当金	60,000	52,000
その他	88,540	34,130
流動負債合計	7,407,952	7,616,323
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,000,000
退職給付引当金	1,741,344	1,779,901
資産除去債務	—	46,647
その他	19,500	19,500
固定負債合計	2,760,844	2,846,048
負債合計	10,168,797	10,462,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金		
資本準備金	3,402,809	3,402,809
その他資本剰余金	8,410	19,580
資本剰余金合計	3,411,220	3,422,390
利益剰余金		
利益準備金	82,000	82,000
その他利益剰余金		
研究開発積立金	500,000	500,000
別途積立金	11,775,000	13,275,000
繰越利益剰余金	2,744,150	2,312,690
利益剰余金合計	15,101,150	16,169,690
自己株式	△76,568	△58,455
株主資本合計	21,797,366	22,895,189
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	62,154	3,586
評価・換算差額等合計	62,154	3,586
純資産合計	21,859,520	22,898,775
負債純資産合計	32,028,318	33,361,147

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	16,905,226	19,876,427
売上原価	11,304,292	15,036,507
売上総利益	5,600,933	4,839,920
販売費及び一般管理費	4,897,737	5,079,573
営業利益	703,195	△239,653
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,343,002	1,185,106
受取ロイヤリティー	395,234	489,425
為替差益	214,710	403,822
その他	123,212	125,466
営業外収益合計	2,076,160	2,203,820
営業外費用		
支払利息	8,637	6,853
貸倒引当金繰入額	100,740	13,850
支払手数料	6,989	6,979
その他	7,159	1,715
営業外費用合計	123,526	29,399
経常利益	2,655,828	1,934,767
特別利益		
固定資産売却益	1,540	79
投資有価証券売却益	233,083	64,899
補助金収入	49,560	—
特別利益合計	284,183	64,979
特別損失		
固定資産売却損	1,380	—
固定資産除却損	73,385	21,949
投資有価証券売却損	5,461	8,753
投資有価証券評価損	2,072	—
固定資産圧縮損	48,527	—
特別損失合計	130,826	30,702
税引前当期純利益	2,809,185	1,969,044
法人税、住民税及び事業税	613,969	286,760
法人税等調整額	△84,127	△3,955
法人税等合計	529,841	282,805
当期純利益	2,279,343	1,686,239

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	3,361,563	3,402,809	8,132	3,410,942
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
別途積立金の積立				
自己株式の取得				
自己株式の処分			277	277
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	277	277
当期末残高	3,361,563	3,402,809	8,410	3,411,220

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	利益剰余金					利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金			繰越利益剰余金			
研究開発積立金		別途積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	82,000	500,000	10,975,000	1,716,688	13,273,688	△100,430	19,945,763	
当期変動額								
剰余金の配当				△451,881	△451,881		△451,881	
当期純利益				2,279,343	2,279,343		2,279,343	
別途積立金の積立			800,000	△800,000	—		—	
自己株式の取得						△59	△59	
自己株式の処分						23,922	24,200	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	800,000	1,027,462	1,827,462	23,862	1,851,602	
当期末残高	82,000	500,000	11,775,000	2,744,150	15,101,150	△76,568	21,797,366	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	169,837	169,837	20,115,600
当期変動額			
剰余金の配当			△451,881
当期純利益			2,279,343
別途積立金の積立			—
自己株式の取得			△59
自己株式の処分			24,200
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△107,682	△107,682	△107,682
当期変動額合計	△107,682	△107,682	1,743,919
当期末残高	62,154	62,154	21,859,520

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	3,361,563	3,402,809	8,410	3,411,220
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
別途積立金の積立				
自己株式の取得				
自己株式の処分			11,170	11,170
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	11,170	11,170
当期末残高	3,361,563	3,402,809	19,580	3,422,390

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
		研究開発積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	82,000	500,000	11,775,000	2,744,150	15,101,150	△76,568	21,797,366
当期変動額							
剰余金の配当				△617,698	△617,698		△617,698
当期純利益				1,686,239	1,686,239		1,686,239
別途積立金の積立			1,500,000	△1,500,000	—		—
自己株式の取得						△68	△68
自己株式の処分						18,180	29,351
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	1,500,000	△431,459	1,068,540	18,112	1,097,823
当期末残高	82,000	500,000	13,275,000	2,312,690	16,169,690	△58,455	22,895,189

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	62,154	62,154	21,859,520
当期変動額			
剰余金の配当			△617,698
当期純利益			1,686,239
別途積立金の積立			—
自己株式の取得			△68
自己株式の処分			29,351
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△58,568	△58,568	△58,568
当期変動額合計	△58,568	△58,568	1,039,255
当期末残高	3,586	3,586	22,898,775



(4) 個別財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。